

前回の校長室からに続き 2020 水戸特別支援学校グランドデザインから…**3つの改革**のうち

「**働き方改革**」についての進捗状況をお知らせします。

基本の考え方は

Well-Being みんながハッピーになるために！です。



教員の働き方改革は何のため??

その理由は、将来を幸せに生きる子どものため、学校に関わるすべての人のためです。

国全体が働き方改革に取り組み始め、教員の働き方にも注目が集まるようになってきました。

子どもの前に立つ教員は、**笑顔**で明るく、**元気**にはつらつとしていて、常に子どもに寄り添い、様々な知識や情報、技術をもち、信頼される人でありたい。これらは、本校だけでなくすべての教員の願いです。

ここで考えていただきたいことは、教員自身の心や体が健康でなければこのような状態を保つことは難しいということです。寝食を忘れて疲弊した教員が子どもの前に立つとしたら、子どもにとって、とても不幸なことです。教員自身もつらいはずです。勤務時間外業務、多岐にわたる業務内容…休憩時間はあってないようなもの。朝早く来て夜遅く帰るのは当たり前。家族よりも仕事を優先するのは教員として当然。そんな風潮があるのも承知しています。コロナ禍により消毒作業等の業務が増えました。GIGA スクール構想、学習指導要領の改訂に伴う、プログラミング教育や道徳の教科化など新たな取り組みも目白押しです。さらには、教員の働き方はブラックだとして、教員を目指す若者が減ってきているという事実も看過できない状況です。

果たして水戸特別支援学校の現状は??

今までお知らせしていませんでしたが、教員の勤務時間と休憩時間は以下のとおりです。長期休業中のみ、休憩時間が12:15~13:00になります。

★ **勤務時間 8:20~16:50** (7時間45分)

※何時間残業しても手当は出ません。(給特法による)

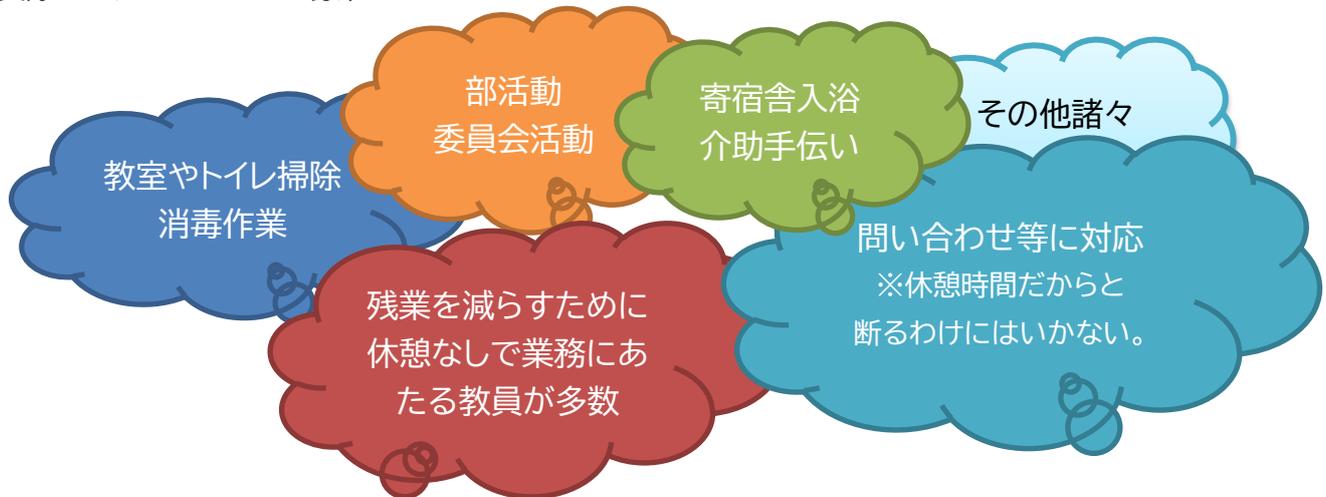
★ **休憩時間 15:10~15:55** (45分間)

※昼食は介助があるため休憩時間をずらしています。

※部活動や委員会活動は教員の休憩時間に実施し、担当者は休憩なしで働いています。ずらして休憩を取ってほしいところですが、授業の準備などがあり、現実的には休憩を取りたくても取れない状況です。現在解決策を探っています。

教員の休憩時間の過ごし方の例

1日に45分しかない休憩時間ですが… ※教員の負担感とは関係なく、何をしているかを示しています。
実際には、ボランティアを募集しても…



そこで、本校では、教員が本来の業務（授業の準備や専門性向上のための授業研究等自己研鑽）に時間を使えるよう、以下のような取り組みを実施したり検討したりしています。

何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 定時退勤日の設定(週1回水曜日)
- 2 12月より完全施錠時間(19:00)を設定
- 3 職員に業務削減アイデアを募集(180件)、順次実施
- 4 ボランティア再募集の検討
(消毒作業、トイレ清掃の外部委託検討、入浴中の他の児童生徒の見守り等)
- 5 **登校時刻の再確認(8:30以降)**
- 6 勤務時間外の緊急電話は学校携帯に
留守番電話設置の代替え案として(予定)※現電話機が対応不可のため
- 7 その他(部活動や委員会活動の対応検討等)